

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	41	○栄養摂取や水分確保の支援 必要な水分摂取量を確保し、入居者の心身の健康を維持したい。	水分を1500cc以上摂取して頂き、入居者の健康を維持することが出来る ・下剤に頼らず便秘を改善することが出来る ・脱水による夜間のせん妄を防ぐことが出来る	①水分摂取量の把握(水分摂取チェック表) ②飲み物の種類を多くし、好みを把握する ③起床時、毎食時、入浴の前後、おやつ時、運動の前後、就寝時など、こまめに水分摂取を促す ④カップの大きさ、重さ、形状など、その人に合ったものを使用する。 ⑤水分摂取が苦痛にならないよう、無理強いはず、さりげなくすすめる。 ⑥ゼリーや、水分を多く含む野菜などを提供する ⑦水分の必要性をわかりやすく説明する	12か月
2	48	○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるようにしたい。	入居者それぞれが自分の役割を持ち、張り合いや喜びのある暮らしが出来る ・出来ることや役割の数が増える ・積極的に活動に参加できる。	①出来ること、している活動を把握する ②家事などの役割表を作り、希望に添った役割を決める ③役割を行ったときは、感謝の意を伝える ④デイサービス(同法人)のレクリエーションに参加し地域の方々と交流する ⑤転倒予防教室(同法人)に参加し、運動能力を高める。 ⑥季節ごとの行事や地域交流を開催し、楽しく過ごせる場面を設ける。 ⑦出来ないことや、失敗した時は職員がさりげなく手伝い、自信を失わないようにする	12か月
3					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。